

ちよつといひ話

～ 巡礼の道 四国 ～

春爛漫、各地の花便りに、皆様方の心もウキウキし、身も軽く感じられてみえる事でしょう。1000 年余、いまだに続く「お遍路」、今年も多くの方々が四国病に罹ったはず、あるいは罹るはずです。なぜならば、四国の空海大師を偲ぶ霊場はインパクトが強烈だからです。全国に島四国、あるいは新四国等々各地域の名称を冠にした霊場が沢山あります。就中、四国という大きな島を一周する、その大地に根を下ろした信仰には特別な感情が芽生えて当然でしょう。以前にも 88ヶ所の 88 という数について、私なりに見解を述べた事がありました。修行という立場から考えますと、佛の教えに「八寒八熱地獄」があります。それはしてはいけない事と知りながら「少しだけなら」とか「誰も見てないから」とか「私だけなら」とか、己の欲求を満たす為なら手段を選ばず、自分勝手な理由をつけて、人をも殺傷してしまったり、他の迷惑を顧みずに行動してしまう人。そんな鬼畜生人間は少ないでしょうか、「目は見えても、字は読めても、内容を把握できても」判断力、思考力が欠如して事に従わない。そんな状態の人、きっと心は真っ黒で、心が闇に包まれた状態に堕ちてしまった事にきがつかない病人なのです。現代人のイライラ欲求不満（frustration）も原因の一つでしょうか、チベット問題も含め世界的に、段々行動に於いて犬畜生にも劣り、無差別殺人等々の理解に苦しむ様な事を平気でやってしまう現代病とでも申しませうか、いよいよ娑婆も末期状態に入って来た様に思えます。これぞ地獄絵そのものです。人間は利口なのかバカなのか？分かりません。

4月の20日には当山油掛地藏様の六道（地獄、餓鬼、畜生、修羅、人間、天上）巡りをして戴き、各お札を受け取り、参拝をされました。六道を簡単に説明しますと「地獄道に堕ちたくなければ「森羅万象^{せい}ある物の生命を大切に守りましょう」。餓鬼道に堕ちたくなければ「物を盗まない、盗み心をも起こさない。時間を大切にしましょう」。畜生道に堕ちたくなければ「道理を踏み外す事のない様に、夫婦は和合して、夫婦以外に淫慾を求めるべからず」。修羅道に堕ちたくなければ「欲心を少なくして足る事を知るべし、そして不足の念を起す事なかれ。物事に対して過ぎない事。」人間道に堕ちたくなければ「己の真心にそむかない事、言葉使いの大切さを理解する事、声をもって解り合う世界にいる事を知るべし」。天上道に堕ちたくなければ「慢心を起こす事なかれ、物事に対して奢^{おご}る事の無い様にしましょう。寝る前に今日一日の感謝を神佛に告げて眠りに入りましょう、健康の元となります。」]以上、守れない人は苦界に堕ちてしまい、六道を輪廻転生して六道から脱出できません。

油掛地藏では本四国88ヶ所を毎年巡拝さして戴いております。昨年は「～の間を司どるとは」をテーマに巡錫し、今年は「共に仏道を歩むとは」をテーマに巡錫する予定です。六道を解脱する為に上記の様な戒律を順守し、短期間ではありますが娑婆の雑念（media等からの情報）から離れ信仰一筋に没頭できる喜びは最高で此の世の極楽です。ただ同行として参加するには家族の温かい理解と自身の健康、日程の可否等々の問題をクリアしなければなりません。参加できた方はその恵みに感謝致しましょう。便宜を図る為に当山では年頭に諸行事のタイムスケジュールを配布しています。楽楽

善入院油掛地藏尊